

「雄志」



民主党千葉県第10区総支部長
元衆議院議員

谷田川はじめ

民主党千葉県第10区総支部 谷田川はじめ後援会

【香取事務所】

〒287-0001 千葉県香取市佐原口2164-2
TEL 0478-54-5678 FAX 0478-52-6991
Mail:info@hajime-yatagawa.com
HP:www.hajime-yatagawa.com

衆参ダブル選挙を視野に入れて

今年も新春恒例の遊説カーでの挨拶回りからスタートしました。元日は、香取と成田地域。二日は、東総地域です。二日間とも晴天で暖かかったため、良いお正月だったのではないのでしょうか。そうしたなか、私の声を聞いてわざわざ家から出て来て下さったり、遠くから駆け寄って頂いたり、いつもながら支援者の皆さんの激励に士気が鼓舞されます。何としても次期衆院選で当選するとの強い意志を持って、日々努力を重ねていく所存です。

さて、昨年末から、政府与党幹部から、衆議院解散に関する発言が相次いでいます。安倍総理は、「解散は全く考えていない」と述べていますが、これを額面通り受け取る人はいません。事実一昨年末の衆議院解散も、直前まで「考えていない」と言いながら、外遊から帰国した直後の11月21日に解散し、12月16日の投票日を設定しました。わずか一ヶ月足らずで選挙日程を確定したのです。突然の解散に各市町村の選挙管理委員会も大慌て。各地でかなりの混乱がみられました。それよりも一番不意を突かれたのは、民主党をはじめとする野党です。与党で3分の2以上の多数があり、任期満了まで半分以上を残してこの時期に解散するはずがないと大半が思っていました。私もその一人でした。それ故、一昨年末の落選の一番の要因は、準備不足であると言わざるを得ません。

安倍総理はどうして解散を断行したのか？与党が事前に各選挙区の情勢を調査したところ、かなり高い確率で勝利できるとの予想が出たそうです。すなわち、今やれば勝てると思ったからやったのです。消費税率引き上げの延期を国民に問うためにもっともらしい理由を付けましたが、「理屈は後から貨車で付いてくる」との格言通り、理由はいつでもよかったのです。要は、選挙に勝って自らの長期政権を目指す。これが安倍総理の最大の目的です。



今年も遊説カーでの挨拶回りで活動開始

野党がバラバラで、再編が進まないうちで、来年四月の消費税率引き上げ前の方が、与党有利と言われています。さらに、参院選での野党協力を分断するためにも、衆院選を同時に行う方がさらに得策との判断もあるかもしれません。

いずれにせよ、準備不足でしたとの言い訳は全く通用しません。文字通り、私にとって政治生命のかかった戦いが次期衆院選です。常在戦場を肝に銘じ、死力を尽くして参りますので、皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。
平成二十八年二月

谷田川はじめ

佐藤優氏を迎えての講演会

11月23日午後5時より成田ビューホテル翼の間にて、谷田川はじめ民主党千葉県第10区総支部長が主催する講演会が開催されました。講師は元外務省主任分析官で作家の佐藤優氏。

谷田川はじめが冒頭の挨拶で、佐藤氏と出会った経緯を述べるとともに、「3年3ヶ月の国会議員時代、最も刺激を受け、教えを請うた人物が佐藤優先生である」と紹介しました。

佐藤優氏は講演で、「谷田川先生は頭がいい。それとともにすごくハートもある。それと締める所を締めるから、役人になめられない。日本のためにも千葉のために一日も早く国政に戻って欲しい」と述べるとともに、過日のフランスでの同時多発テロには、日本にとっても対岸の火事ではないと指摘しました。尚、佐藤氏の講演は、谷田川はじめのホームページから動画をご覧頂けます。

講演会には、来賓として、連合千葉鈴木光会長と民主党千葉県連 田嶋要代表も登壇し、次期衆院選での谷田川はじめへの支援を呼びかけました。参加者は80名を超え、佐藤氏の話に真剣に耳を傾けました。



佐藤氏を紹介する谷田川はじめ



講演する佐藤優氏



鈴木光 連合千葉会長



田嶋要 民主党千葉県連代表



岡澤麻記子さんから花束を贈呈される佐藤優氏



800名を超える出席者で埋め尽くされた会場

懇親パーティーには 野田前総理も出席



野田前総理と谷田川夫妻



檄を飛ばす栗林利男 後援会長

講演会終了後、会場を2ヶ所に分けて懇親パーティーが開かれました。最初に栗林利男後援会長が登壇し、「今度こそ、地元のためにも谷田川さんを国会へ送ろう」と檄を飛ばしました。続いて挨拶に立った野田前総理が、アベノミクスは地方に全く恩恵がないと語ると、多くの来場者から賛同の声があがりました。そして、衆院選が参院選と同時に実施される可能性にも言及し、「畳をかきむしっても、谷田川はじめを当選させましょう」と訴えました。その後、谷田川はじめが登壇し、夏の参院選に再選を目指す小西洋之参院議員を紹介するとともに、次期衆院選での必勝を期すとの力強い決意表明がありました。

栗田剛一 匝瑳市議会議長の発声で乾杯した後、香取市を拠点とするナヘナヘメレアナ教室の皆さんがフラダンスを披露して下さい、パーティーは大いに盛り上りました。



7月の参院選で再選を目指す
小西洋之 参院議員



栗田剛一 匝瑳市議会議長の発声で乾杯



ナヘナヘメレアナ教室の皆さんによるフラダンス



熱気に溢れたパーティー会場

配布したチラシを掲載しました。



公津の杜駅にて (12/1)

12月のチラシ

臨時国会開催を！

「内閣は、国会の臨時会の招集を決定することができる。いずれかの議院の総議員の4分の1以上の要求があれば、内閣は、その招集を決定しなければならない。」これは憲法53条の規定です。野党はこれに基づいて臨時国会開催の要求をしましたが、安倍内閣はこれに応じようとしません。

その理由は、総理の外交日程が窮屈だからだそうです。民主党で3人目の総理大臣を務めた野田佳彦氏は次のように述べています。「確かに11月の外交日程は極めてハードです。G20、APEC、東アジアサミットなど重要な首脳会議が毎週開かれます。高速移動は疲労が蓄積しますし、時差にも悩まされます。国益を背負った国際会議は緊張しますし、ストレスも溜まります。だからといって、国会を開かなくて良い理由にはなりません。テロの脅威や減速する世界経済に国際社会はどのように立ち向かうのか、各国首脳と議論したことをきちんと国会に報告し、質疑に立つ責任があるはずで、歴代総理は疲労困憊しながらも死に物狂いでその責任を果たしてきました。」

この野田前総理の意見に異論をはさむ余地はないと思います。こうした指摘に呼応する形で、政府は11月10日及び11日、衆参それぞれの予算委員会において閉会中審査に応じました。わずか2日間、14時間の質疑で国政全般に関わる議論が深まるはずがありません。議員も国民も消化不良を感じています。やはり臨時国会をきちんと開いて、各般にわたり徹底した審議を行うべきです。

まず第1は、安全保障です。先の通常国会で成立した安保関連法について、国民の理解は進んでいません。世論調査では「説明が足りない」と感じる人が約8割もいます。政府はこういった声を真摯に受け止め、国会審議を通じて説明責任を果たすべきです。

第2は経済政策です。新3本の矢なるものが突然唱えられはじめました。GDP(国内総生産)600兆円、出生率1.8、介護離職ゼロが本当に実現するなら喜ばしいことだと思います。しかし、その実現への具体策が全く明らかにされていません。そもそもアベノミクスの前の3本の矢はどうなったのでしょうか？その検証もされていません。また、TPPも大筋合意がなされましたが、交渉を通じて何を勝ち取ることができ、守るべきものをしっかり守れたか、国会で明らかにすべきです。

第3は、閣僚の資質についてです。10月7日に内閣改造が行われましたが、通常は新たに閣僚や政務三役に選任された人たちは、国会で所信を表明し、それに対する質疑を経たのち本格的に執務に入ります。その際「政治と金」を巡る疑惑などを晴らす必要があります。こうした資質についてチェックされることもなく、政府の要職に就いて良いのでしょうか？

憲法第99条は「天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し、擁護する義務を負う」と規定しています。先の通常国会で違憲と指摘された安保法案を強引に成立させた安倍政権。今度は臨時国会召集義務を無視。平和条約第9条、臨時国会召集義務の第53条、憲法擁護義務の第99条の憲法違反を犯して居直る安倍政権下の日本は、もはや法治国家ではなく、人治国家と言わざるを得ません。

早朝の駅頭活動で、12月と1月に

1月のチラシ

公約と膏藥^{こうやく}は張り替えるほどよく効く？

安倍政権が誕生して3年が経過しました。確かに円安や株価上昇等により、企業業績も改善に向かっています。しかし当千葉10区に関するかぎり、景気回復の恩恵を受けている人は、ごく一部であり、大多数はそれを実感できていないのが実情です。にもかかわらず、安倍内閣が比較的高い支持率を保っているのは、成果の誇張によるものではないでしょうか？

それは、安倍政権が最初に掲げた3本の矢の状況を見れば明らかです。

第一の矢の異次元の金融緩和により、結果として、大企業は空前の利益を出しましたが、円安は逆に中小企業を苦しめ、実質賃金も下がり続け、経済の好循環はおこっていません。そして、2%の物価上昇も達成できていません。

第二の矢である機動的な財政出動は、要は公共事業を増やすこ

とであり、結果として復興需要と重なり、資材が高騰し、全国的に入札不調が相次いでいます。

第三の矢である成長戦略については、特筆するものは何もなく、的に届いていません。

安倍総理は、1月4日の年頭記者会見で「デフレ脱却まであと一息というところまで来ている」と述べましたが、どうしてそのようなことが言えるのか？何ら根拠を示していません。

そして、これではじり貧になると感じて打ち出したのが、「新しい3本の矢」です。2020年頃までにGDP(国内総生産)600兆円の到達。2020年代半ばまでに希望出生率1.8を実現。介護離職ゼロを達成。どれも耳に心地よい夢物語のように思われます。実現できそうにないことを、自信を持って語る安倍総理の姿を見て「公約と膏藥(湿布薬のこと)は張り替えるほどよく効く」とある政治家が語っていたのを思い起こしました。以前になされた公約がしっかり実現できたかを検証する前に次にバラ色のような公約を打ち出す。つまりボロが出る前に次の政策を打ち出して目先を変える。これが政治家が選挙に勝ち続ける秘訣だそうです。

振り返ってみれば、2012年12月の衆院選では、自民党はTPP断固反対を叫んでいました。ところが、手のひらを返すように、TPP交渉に参加。そして昨年10月に大筋合意に至りました。そして堂々とTPPが日本経済の発展に資すると声高に主張する始末。

TPP反対の主張はどこに行ったのでしょうか？いずれにしても、1月4日から始まった通常国会では、TPPの大筋合意は日本の国益をしっかりと守ることができたのか、十分審議する必要があります。さらにはアベノミクスもしっかり検証し、経済の好循環をもたらすにはどうすべきか？私ども民主党も経済政策の対案をしっかりと掲げて、国会論戦を行うことが期待されていると思います。



JR 八日市場駅にて (1/22)



連合千葉・成田・佐倉地域協議会定期総会で挨拶 (11/27)



元旦のお昼は
スタミナをつけるため焼肉を食す
(焼肉屋田中商店成田三里塚店にて)



多古町ときわの里保存会
収穫祭で挨拶 (11/29)



千葉県税理士政治連盟懇親会で挨拶 (11/25)



連合千葉・東総・香取地域協議会
新春の集いで挨拶 (1/24)



地元町内岩ヶ崎の初詣会に参加
築地本願寺にて (1/10)



千葉県電力総連
新年旗開きで挨拶 (1/5)

定期的に早朝の駅頭活動

谷田川はじめは、成田駅西口、公津の杜駅、京成成田駅、佐原駅で毎月早朝の駅頭活動を続けています。その他の駅は、ローテーションを組んで行っています。

自分の主張や活動等を A4 版の紙に印刷して、毎回内容を変えて配布しています。駅で谷田川はじめの姿を見たら、是非声をかけて下さい。



成田駅西口 (1/7)



公津の杜駅 (1/8)



京成成田駅 (1/13)



佐原駅 (1/14)

支援者の声

民主党は政権責任政党を目指せ！



香取市在住
香取 恒夫さん

民主党は国家・国民のためにも、再度、政権責任政党を目指してほしい。自民党の批判をする政党ではなく、自民党の政策を上回る現実的で責任ある政策を掲げ、国民の支持・協力を得ることが必要です。

このためには、国民の知恵や力や主体性を生かした、国民主役の公正な国づくりや社会づくりを目指すことにあります。産業経済や雇用、社会福祉、安全保障、国の巨額借金などの多くの難題にも、国民の知恵とパワーを得て、積極的に責任を持って取り組むべきです。

国民はこのような主体的に参加する政治を待望しており、民主党がこの政治理念や政策を掲げれば、多くの国民の共感や支持が得られ、再び政権を任すことができるでしょう。

民主党が掲げる理念に「共に生きる社会」がありますが、言葉だけや、受け身的では実現しません。国民の知恵や力や主体性、党の責任ある実行力があってこそ実現するものです。民主党の力強い再起に期待します。

今度こそ谷田川さんを当選させよう！



横芝光町在住
中村 慶子さん

これまで私が持っていた政治家のイメージは、偉くて近寄りづらいという感じでした。しかし、それとは正反対でとても親しみやすいのが谷田川さんです。何でも話を聞いてくれて、地元のことにも一生懸命取り組んでくれます。

横芝光町も震災復旧で大変お世話になりました。前はあと10票で当選を逃したと聞き、とても残念です。是非今度は皆で力を合わせて谷田川さんの当選のために頑張りましょう。

ポスター掲示のお願い

今年7月の参議院選挙での民主党公認・小西ひろゆき氏の必勝に向けて、右記のポスターの掲示を進めております。自宅や会社に貼ってもよいと思われる方、是非谷田川事務所にご連絡下さい。

電話 0478-54-5678



「谷田川はじめと国政を勉強する会」のご案内

～ 野田前総理来たる! ～

なんだかよくわからない今の国政!あの騒がしかった国会、安全保障問題や TPP 関連って一体どうなったの?これからの暮らしはどうなるの?わかりやすく解説してもらいたい!

そんな集会を谷田川はじめが多古町で開催致します。ご来賓として野田前総理にお越しいただきます。どなたでも大歓迎ですので、皆様お誘い合わせの上ご来場ください。



野田佳彦前総理大臣

2月14日(日)
午前11時
(受付10時30分開始)

場所

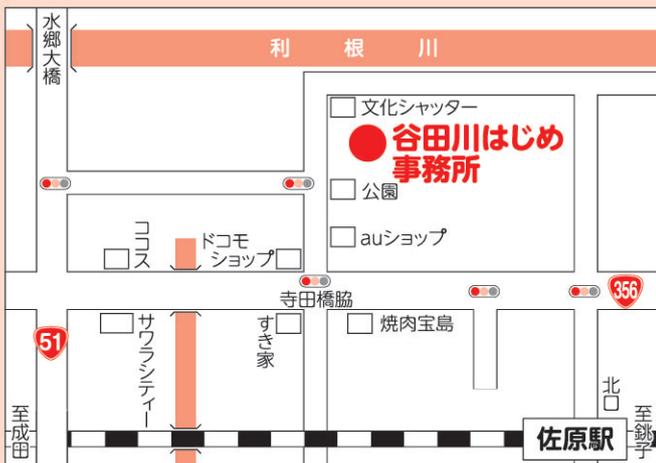
多古町コミュニティプラザ
3階多目的ホール

主催/谷田川はじめ多古町後援会

問い合わせ先/谷田川はじめ事務所 TEL.0478-54-5678

谷田川はじめ事務所

〒287-0001 千葉県香取市佐原口2164-2
TEL.0478-54-5678 FAX.0478-52-6991



【谷田川はじめプロフィール】

- 昭和38年 1月17日香取市に生まれる
- 56年 千葉県立佐原高校卒業
- 60年 早稲田大学政治経済学部卒業
- 同年 丸紅(株)入社
- 63年 (財)松下政経塾入塾
在塾中、米国連邦下院議員政策スタッフとして活動
- 平成3年 衆議院議員山村新治郎秘書
- 5年 千葉県議会議員初当選
以後4期連続当選
- 21年 衆議院議員初当選
拉致問題特別委員会理事
国土交通委員会委員
民主党成田空港ハブ化推進議員連盟事務局長
- 24年 再選を目指したものの惜敗
- 26年 振り返きを目指すもわずかに10票で
比例区当選に届かず
- 【現在】 民主党千葉県第10区総支部長
千葉県ハンドボール協会会長

冠婚葬祭等の情報がありましたら、谷田川事務所までご連絡下さい。

メッセージの手配をさせて頂くとともに、日程調整がつけば、谷田川はじめが顔を出させていただきます。